

議会だより

発行：山県市議会

編集：議会報編集委員会

やまがた



75号

2022年2月1日発行

- 令和3年 第4回定例会 P2
- 常任委員会報告 P3・4
- 所管事務調査報告 P4・5
- 一般質問 P6～10
- 議員特別セミナー報告 P11
- 議会活動日誌・議会報告並びに意見交換会のお知らせ
令和4年 第1回(3月)定例会予定 P12



▲ 元気いっぱい雪遊び(富岡保育園)

第4回定例会

11月29日～12月17日
(19日間)

条例案件	2件
予算案件	5件
その他案件	3件
報告案件	1件

議案の審議結果

条例案件

議第81号	山縣市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第82号	山縣市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)

予算案件

議第83号	令和3年度山縣市一般会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
議第84号	令和3年度山縣市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第85号	令和3年度山縣市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
議第89号	令和3年度山縣市一般会計補正予算(第6号)	可決(全会一致)
議第90号	令和3年度山縣市一般会計補正予算(第7号)	可決(全会一致)

その他案件

議第86号	工事請負契約の変更契約の締結について	可決(全会一致)
議第87号	市道路線の認定について	可決(全会一致)
議第88号	市道路線の廃止について	可決(全会一致)

報告案件

報第6号	専決処分の報告について	—
------	-------------	---

採決にあたっての
主な討論議第89号 令和3年度山口市
一般会計補正予算(第6号)議第90号 令和3年度山口市
一般会計補正予算(第7号)

賛成討論

18歳以下の子どもへの10万円給付について、年内一括現金給付実現の道が開けた。

今回の給付金を巡る議論の中、コロナ禍で本当に困っている人々に給付金が届かないことも問題になっている。働く貧困層と言われるワーキングプアの人々は、政府の統計で1200万人近く存在し、その中で年収100万円から200万円の人々が720万人を超えている。この人々は、今回の給付金の対象外である。

また、コロナ関連の経営破綻は、3カ月連続で過去最高を更新している。事業復活支援金の規模を拡大し増額することや、家賃支援給付金の再支給も求められている。

給付金支給の対応が二転三転し、自治体での事務作業などにも混乱を来した。年内に一括して現金が支給されれば、2年続きのコロナ禍で大変な思いをしてきた子どもたちに、いいお正月が届けられる。

引き続き困っている人々への支援が届くよう、政府に要求するとともに、今回の2つの補正予算について賛成の意を表する。

常任委員会に

付託された議案を審議

総務産業建設委員会

主な質疑

条例案件

【議第81号】 山県市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

Q 政策参与を設置するうえで、一番の重点政策は何か。

A 適切かつ円滑な市政運営を図るため、市長に助言、提言を行う目的で設置した。

主にクリーンセンターの長期継続契約が令和6年で終了するため、契約終了前に大規模改修等を行うのか、また契約を継続していくのかということも含めて検討していく予定である。

Q 政策参与の報酬月額28万円の根拠は。また勤務形態、任期規定はどのようなか。

A 副市長の給与を参考に積算している。

週に15時間30分、2日程度の勤務で算出した。任期は1年で、ただし再任は妨げない。

予算案件

【議第83号】 令和3年度山県市一般会計補正予算(第5号)

Q 美山支所再整備各種工事の全容と進捗状況はどのようなか。

A 令和3年6月18日に美山支所の再整備実施設計業務を委託した。

木造平屋建て、延べ床面積約480㎡、支所機能のほか、健康相談スペース、多目的スペース、談話スペース、その他団体が入る予定で建築物の詳細設計を実施している。

事業計画は、令和4年度に既存支所の解体と解体後の造成を予定。令和5年度に新支所の建設を始める考えである。



▲美山支所



Q コミュニティ助成事業の助成額150万円の内容は。

A 石畑自治会のコミュニティ備品を整備した分、ダブル28台、折り畳み椅子84脚分である。

Q 庁舎内のWi-Fi整備について、備品購入費のオンライン会議等端末439万6千円は、どのような端末を何台導入するのか。また、使用対象者は誰か。

A オンライン会議の端末は、市職員を対象とし、各課1台程度行き渡るよう20台を予定している。

また、庁舎内にアクセスポイントを25カ所設置し、Zoom会議などを行えるようにする考えである。



その他案件

【議第86号】 工事請負契約の変更契約の締結について

Q 工事請負契約で、工法が変更となった理由は。

A 三田又川改修工事、大型土のうから鋼矢板による仮締切りに変更したこと、河床掘削で大型土のうを製作するにあたり、流用土から購入土に変更したこと。また、地盤が軟弱なため、工用道路に敷鉄板を施工したことによる増額分である。



▼▲三田又川改修工事



採決の結果、付託された議第81号、議第83号及び議第86号から議第88号は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定した。



厚生文教委員会

主な質疑

予算案件

【議第83号】 令和3年度山県市一般会計
補正予算(第5号)

Q 児童福祉総務費の施設型給付費等負担金について、預ける保育園によって子ども1人当たりの親の負担金額は違うか。

A 所得や年齢によって保育料が違いため、親の負担金額も違う。

Q 放課後児童クラブで使用する座卓など備品購入費の内訳は。また、座卓はそれぞれどこに配置するのか。

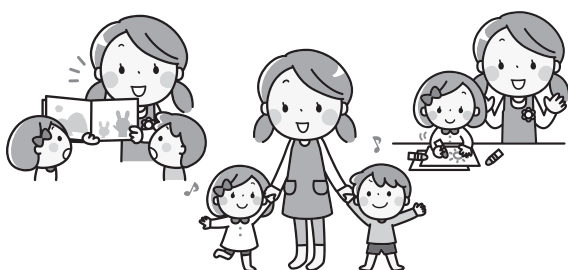
A 座卓55台、棚が1台、ブックトラックが1台である。座卓は、高富、富岡、美山に各10台、梅原、桜尾、伊自良南、伊自良北、いわ桜に各5台配置する。

Q 利用人数が少ないクラブでも、5台の座卓が必要なのか。

A 密を回避するためには、5台必要である。

Q エアコンの改修工事を実施する保育園はどこか。

A 高富保育園、富岡保育園、みやま保育園、伊自良保育園の4園である。



【議第89号】 令和3年度山県市一般会計
補正予算(第6号)

Q 子育て世帯への臨時特別給付金の対象者は、学生だけか、社会人も含まれるか。婚姻している18歳以下の人も対象か。

A 社会人にも給付する。ただし、婚姻している18歳以下の人は対象外である。

【議第90号】 令和3年度山県市一般会計
補正予算(第7号)

Q 子育て世帯への臨時特別給付金10万円は、12月28日まで支払うことができるのか。

A 申請が不要なプッシュ型による支給の対象者には、10万円を一括で支払うことができる。



採決の結果、付託された議第82号から議第85号、議第89号及び議第90号は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定した。

所管事務調査報告

総務産業建設委員会(12月9日)

(文責 田中 辰典)

市道11003号線道路改良工事・岐北厚生病院周辺整備

岐北厚生病院北側に位置する市道11003号線道路は、現在病院新設駐車場に接する道路南側の改良工事を行っている。これは、歩行者と自動車の安全確保のため、道路を拡幅するもので、工期は令和3年6月から令和4年1月までである。

視察時の道路は検査前の状態で、以前と比べ少し狭くなっていた。

今後は道路北側の工事を行う予定である。



武士ヶ洞地内工場用地基盤整備事業

※準工業地域である武士ヶ洞地内で企業誘致を進めており、アクセス道路となる市道改良などの基盤整備事業を進めている状況である。今後は、アジア原紙(株)(岐阜市)の本社、工場及び営業所が移転する。

現在、令和2年2月より造成工事(南北工区計約3.3ha)に着手し、これまでに概ね完了している。

南工区では、建物設計に向けたボーリング調査を実施中である。その後建物建築は、令和4年7月に着工、令和5年度中に操業開始を予定している。

北工区については、市で企業誘致を進める予定である。武士ヶ洞地内へのアクセス道路となる市道11129号線は、幅員確保のため平成30年度から改良工事に着手し、今後も引き続き整備を進めていく。



※準工業地域…都市計画法による用途地域の1つで、主に環境の悪化をもたらす恐れのない工業の利便を増進するため定める地域。

厚生文教委員会(12月10日)

(文責 郷 明夫)

複式学級授業(大桑小学校)



大桑小学校(全校児童数39人)では、小学校2年生(児童数6人)、3年生(児童数6人)からなる複式学級の授業を視察した。

2年生では、配置された特別教育サポーターにより、ビニール紐に長い紙をテープで吊るす図工の授業が行われていた。



3年生では、担任により算数の授業が行われていた。

特別教育サポーターの配置により、2、3年生とも伸び伸びと授業に取り組んでいる状況が把握できた。

小規模保育施設「ねっこ園」



ねっこ園では、幼児5人が無農薬の安心安全な昼食をとっている状況だった。園は床、内装壁とも木製であり、おもちゃも木製となっている。

「まち保育」の考えを取り入れ、身近な地域社会と一緒に子育て支援、地域活性化を交えた「地域づくり」に取り組んでいる。

この施設は、山県市初の対象年齢0歳(10カ月)から2歳児の小規模保育施設で、定員は9人である。地域づくりNPO法人の「山県楽しいプロジェクト」により、園長以下職員8人で運営されている。



一般質問

令和3年
第4回定例会

10人の議員が登壇し、市政を問う

Q A



福井 一徳 議員

Q-1 水道料金値上げ計画の今後の予定は

A 料金改定に向け慎重に審議を重ねていく

Q-2 鳥羽川堤防を1m下げる計画について市の見解は

A 将来的な堤防高と認識し、早期整備を期待する

その他の質問
・新たな公共交通再編スタートの現状と市民の声について

Q-1 市長は9月議会で「値上げについては慎重に進めていきたい」と答弁したが、どの程度の改定率を計画しているのか。

A 「水道料金はおおむね3年を通じ財政の均衡を保つことができるよう設定されたものであること」を基本として、適正な原価に照らし検証した数値を基に提示する予定である。

Q-2 市民参加も含め、今後の審議の進め方は。

A 水道事業審議会は令和3年度に2回開催を予定し、令和4年度も継続して開催する。料金改定は慎重な審議が必要であり、開催回数は未定。審議会での審議をはじめ、広報紙やホームページへの掲載、意見募集、連合自治会などを中心とした広報活動の実施など、市民へ丁寧な説明を心掛けていく。

Q-1 市長は9月議会で「値上げについては慎重に進めていきたい」と答弁したが、どの程度の改定率を計画しているのか。

A 「水道料金はおおむね3年を通じ財政の均衡を保つことができるよう設定されたものであること」を基本として、適正な原価に照らし検証した数値を基に提示する予定である。

Q-2 市民参加も含め、今後の審議の進め方は。

A 水道事業審議会は令和3年度に2回開催を予定し、令和4年度も継続して開催する。料金改定は慎重な審議が必要であり、開催回数は未定。審議会での審議をはじめ、広報紙やホームページへの掲載、意見募集、連合自治会などを中心とした広報活動の実施など、市民へ丁寧な説明を心掛けていく。

Q-1 市長は9月議会で「値上げについては慎重に進めていきたい」と答弁したが、どの程度の改定率を計画しているのか。

A 「水道料金はおおむね3年を通じ財政の均衡を保つことができるよう設定されたものであること」を基本として、適正な原価に照らし検証した数値を基に提示する予定である。

Q-2 市民参加も含め、今後の審議の進め方は。

A 水道事業審議会は令和3年度に2回開催を予定し、令和4年度も継続して開催する。料金改定は慎重な審議が必要であり、開催回数は未定。審議会での審議をはじめ、広報紙やホームページへの掲載、意見募集、連合自治会などを中心とした広報活動の実施など、市民へ丁寧な説明を心掛けていく。

Q-1 市長は9月議会で「値上げについては慎重に進めていきたい」と答弁したが、どの程度の改定率を計画しているのか。

A 「水道料金はおおむね3年を通じ財政の均衡を保つことができるよう設定されたものであること」を基本として、適正な原価に照らし検証した数値を基に提示する予定である。

Q-2 市民参加も含め、今後の審議の進め方は。

A 水道事業審議会は令和3年度に2回開催を予定し、令和4年度も継続して開催する。料金改定は慎重な審議が必要であり、開催回数は未定。審議会での審議をはじめ、広報紙やホームページへの掲載、意見募集、連合自治会などを中心とした広報活動の実施など、市民へ丁寧な説明を心掛けていく。

Q 女性議員も活躍できる議会に

A 今後の国の動向に注視する



山崎 通 議員

Q 女性も活躍できる議会を国が推奨し、男女均等になるように求める法律の施行後も、令和3年10月の衆議院選挙は4年前と同じ水準で、20%に満たない結果だった。女性ならではの経験・視点が重要になる。女性候補割合を設けて、選挙制度を見直す考えはあるか。

A 国は、国会や地方議会の選挙で男女の候補者数ができる限り均等になることを目指す「政治分野における男女共同参画推進法」を一部改正し、議員や候補者へのセクシャルハラスメントや妊娠・出産などに関するハラスメント対策を盛り込み、女性の政治参加推進に努めている。

また、国の第5次男女共同参画基本計画では、衆参両院選挙の女性候補者比率を2025年までに35%にする数値目標を掲げている。

Q 女性も活躍できる議会を国が推奨し、男女均等になるように求める法律の施行後も、令和3年10月の衆議院選挙は4年前と同じ水準で、20%に満たない結果だった。女性ならではの経験・視点が重要になる。女性候補割合を設けて、選挙制度を見直す考えはあるか。

A 国は、国会や地方議会の選挙で男女の候補者数ができる限り均等になることを目指す「政治分野における男女共同参画推進法」を一部改正し、議員や候補者へのセクシャルハラスメントや妊娠・出産などに関するハラスメント対策を盛り込み、女性の政治参加推進に努めている。

また、国の第5次男女共同参画基本計画では、衆参両院選挙の女性候補者比率を2025年までに35%にする数値目標を掲げている。

その他の質問
・選挙の投票率を上げるために
・一票の格差問題について



「女性候補者割合」とは、議席の一定割合を女性にあらかじめ割りあてる制度(クオータ制)のことだと思われ、すでに導入されている国もあるが、日本では、公職選挙法があり、独自の選挙制度を築くのは非常に困難であると考えている。



石神 真 議員

Q-1 はじかみ林道の整備を

A 継続的に維持管理をする

Q-2 情報システム各種業務委託(教育系システム)について

A 即時対応、負担軽減のため業務委託を検討する

Q-1 大河ドラマのおかげで、大桑城跡への登山は今な人気がある。はじかみ林道の法面・道路などの雑木や草木を整備してはどうか。

A はじかみ林道は、観光のメインのひとつでもある大桑城跡への登山をする場合の道路となつている。心地よく利用してもらうために、はじかみ林道の維持管理は、今後ともとても重要だと考える。

令和3年度は、はじかみ林道の路面の清掃、溝さらえ、枝葉の伐採を業務委託し実施した。今後も継続的な維持管理に努めていく。

Q-2 9月の決算議会で、教育系システムの維持管理について説明があり、システムの保守契約を削減したことにより、学校でのトラブル対応が遅れたと聞いたが、なぜ削減したのか。

A ICT整備に係る公費の肥大化の中で、日常で起きるある程度のことには自己解決できるような体制が必要だと考える。令



▲林道椿野～はじかみ線

和2年度からの保守契約に係る予算の削減は、サーバーなどのメンテナンスを必要最低限の回数にしたため、パソコンのアップデイトや年度末の更新作業を、学校教職員や学校教育課担当者が行うなどして経費の削減をしたものである。

今後の保守については、令和2年度と3年度の実態を踏まえ、教職員や学校教育課担当者の負担を考慮しつつ、業者のサポート体制の充実を図る必要があると考える。また、各学校や学校教育課が行っていたソフトウエアのアップデイトや年度末のパソコンの設定更新作業は、業者が行う保守業務で対応するよう検討する。

Q マイナンバーカードの普及に向けて

A 市民目線に立ったサービス提供の調査・研究をしていく



郷 明夫 議員

Q マイナンバー制度は、行政を効率化し、市民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤であり、社会保障、税、災害対策の行政手続きが必要となる。マイナンバーカードは、金融機関の口座開設や旅券の新規発給の身分証明書としての利用、図書館利用カード・公共施設予約などのさまざまなサービスが提供される。

また、市では未実施のコンビニで住民票・印鑑登録証明書・戸籍証明書などの取得がいつでもどこでもできる交付サービスが提供されている。国では従来の上限5千円分のポイントと合わせて新たに健康保険証と銀行口座紐づけで最大2万円分のポイントが付与されることになった。

1. マイナンバーカードの普及率は。
2. 普及率向上の広報は。
3. コンビニ交付サービス導入の検討状況は。
4. カードを利用した市民提供サービスの検討状況は。



▲マイナンバーカード受付窓口(市役所1階)

1. **A** 現在の普及率は39.7%である。
2. 広報紙やホームページに掲載するほか、事業者向けのメールマガジンなどで幅広く周知している。また、CNNの広報番組で申請方法の紹介などを予定している。
3. 国が進めている地方自治体の基幹業務標準化の進捗状況を注視しながら、コンビニ交付システムの導入と時期について慎重に検討している。
4. 市民目線に立ち、利便性の良いサービス提供が実施できるよう調査・研究を進めている。





奥田 真也 議員

Q-1 バスの利活用に対する考えは

A 地道に公共交通への理解と利用促進に努めていく

Q-2 「山県市ファンクラブ」運用の考えは

A 写真やSNSを通じたPRと交流を促進する



▲自主運行バス「ハーバス」

Q-1 自主運行バスなど新規路線が運行開始し半年が経過したが、乗車人数の状況や利活用に対する考えは。

A 議会でも報告したとおり、利用状況を把握している。

また、ガイドブック配布や広報紙掲載以外にも公共交通学習として小学生のバスターミナル見学を受け入れるなど、市民の理解と利用促進に努める。

Q-1 バス停危険箇所の解消について、今後の考えは。

A 危険バス停リストの解消については、関係者間で対応策を協議中である。

県内には、危険度が高い順にAからCまで定められたバス停が324カ所ある。そのうち市内ではCが4カ所あり、すでに2カ所は解消済みである。



Q-2 会員全てが観光大使となり、市の魅力を発信し、また観光推進や移住対策にもつながる「山県市ファンクラブ」運用についての考えは。

A ファンクラブ活動の類似事業として、高山市などでは公募・認定制度があり、応募者のPR提案内容などを元に、市が認定する制度である。飛騨市でも市をさらに楽しむコミュニティ活動として、友達1万人を目指した活動が展開されている。

市では、今年度から観光資源化事業を実施していることから、当面は、写真やSNSを通じた山県市のアピールと市内外の交流促進に注力する。

Q 土砂災害における盛土問題は

A 今後も、国や県の動向を注視する



加藤 義信 議員

Q 国は、大規模地震等における大規模盛土造成地の土砂に対する事前防災対策を促進するため、各市町村へ対策が必要な箇所を抽出するよう安全調査を進めている。市の大規模盛土造成地の現状は。

A ※市内の大規模盛土造成地は11カ所あるが、活動崩落対策推進ガイドラインによる評点や、現地踏査の結果、直ちに地盤調査などを開始する必要がある箇所ではない。また、大規模盛土以外の盛土についても全国総点検が行われ、県では、11月末時点で調査対象649カ所のうち、494カ所で点検が完了し、異常は認められていない。

Q 今後の対応は。

A 国や県からの対策の進め方や補助制度などの関連情報の継続収集に努め、土砂などの埋立てに関しましては、県と市民環境課で土地の情報共有を図っている。

また、令和3年度末頃に経過観察マニュアルが

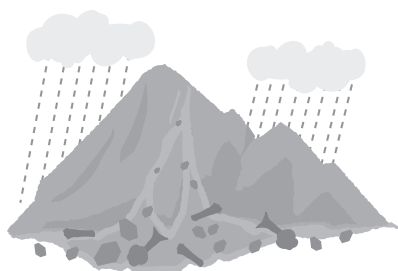
示される予定であり、国や県の動向を注視する。

Q 熱海市の土石流災害を受けて、盛土を規制する条例の制定についての考えは。

A 現在、埋立て・盛土に関する条例は、県内で5市町、開発行為などに関する要綱・条例は35市町で制定されている。

現在、国では盛土を巡る法整備について検討されている状況であるため、あわせて国や県の動向を注視する考えである。

※市内の大規模盛土造成地の区分は、谷埋め型・谷埋め型とは、盛土の面積が3,000㎡以上の谷や沢を盛土し造成された土地のこと。





吉田 茂広 議員

Q 令和4年度当初予算編成の方針は

A 実情・実態を踏まえた効果的な 予算編成を目指す

- 【Q】令和4年度当初予算編成について、重点項目とされる次の3点に対する方針はどのようなものか。
1. 中小企業対策について。
 2. マイナンバーカードの普及を含むDX（デジタルトランスフォーメーション）について。
 3. グリーン社会の実現について。
- 【A】当初想定した市内企業等活性化補助金制度の期限は令和4年度まで。この制度を活用する事業者があれば、次年度も一定額を確保する。
2. マイナンバーカードの普及は、行政の業務効率化につながり、市民の利便性向上も期待できる。そのため、国とともに、正しい情報を分かりやすく伝え、希望する人が取得しやすい環境作りに努めていく。
- DX推進は、必要不可欠になってきている。現在、DX推進本部・プロジェクトチームの前段階となるDX推進研究会として、各課職員を集めてさまざまな研究などを行っている。
- 令和4年度は、より効果のあるDX推進を目指すため、専門的な業者などの力も有効に借りられる予算を計上したい。
3. グリーン社会の実現は、現代に生きる我々の喫緊の責務でもある。CO₂排出量が世界で5番目に多いわが国で、その4割近くが発電所等で排出されている。
- しかし、太陽光発電でもさまざまな課題が出てくる事例は多い。こうしたことを一概に排除せず、CO₂を吸収する植林なども含めた検討が必要である。
- 今後、エネルギーの地産地消という考え方も踏まえ、本市がグリーン社会の実現に、どのように寄与できるかということを視野に入れた予算編成に努める。

Q コロナ後を見据えた観光施策は

A アフターコロナにふさわしい 「広域観光」で県と連携する



加藤 裕章 議員

- 【Q】マイクロツーリズムの流れの中で、コロナ後を見据え、今後どのような観光施策を考えているか。
- 【A】今後も感染症対策の継続は必要だと認識している。そのなかで、観光業、飲食店などを対象として12月から開始された「ワクチン・検査パッケージ制度」など、県の施策に注視していく。
- 本市の観光施策を進めるためには、民間との連携が大切な鍵となると考える。そのもとで必要な感染症対策を継続し、観光事業を自ら進める人々・団体の取り組みを支援する。
- 【Q】大桑城跡の発掘調査の成果を市内外の人に見てもらうため、展示公開する予定は。
- 【A】令和3年度調査成果の速報展示会を令和4年3月15日から4月17日までの約1カ月間、古田紹欽記念館で実施する予定である。
- 【Q】道路整備を見据えて県は福井県と連携した広域観光を推進している。市でも関係する地域との広域連携を進めてはどうか。市長の考えは。
- 【A】令和2年3月の山県IC開通を機に、市内に新たな企業進出が見られる。
- このように道路整備を契機とした福井県などの交流活性化に期待している。
- 交流の芽をとらえ、県が推進するアフターコロナにふさわしい広域観光との連携を図っていく。



▲古城山山頂のミニ大桑城（模擬天守閣）





寺町 祥江 議員

Q 保育園民営化の進捗状況と今後の保育方針は

A 円滑な移管の推進と よりよい保育環境の確保を目指す

Q 民営化移管に関する移管前協定を結んだ2園(高富保育園、富岡保育園)について、進捗はどのようなか。

A 民営化に移管する法人が移管後の保育方針、処遇についての保育士説明会を実施した。また、職員の意向調査時に、令和5年度の市の採用見込み数を周知し、同時に2法人の職員採用案内を配布することで、進路の判断材料とし、不安の軽減を図った。

民営化による保護者などの不安軽減を図るため、全保護者を対象とした保護者説明会と保護者会等、法人、市による三者協議会を実施した。協議した内容は、保育園支援システム「コードモン」での配信ホームページでの公開のほか、子育て支援課と保育園に資料を設置し、広く内容を周知することで情報共有を図っている。

また、市と法人で備品などの確認や、保育環境の変化による園児への影響を最小限にするため、市と法人職員が合同で携わる合同保育の計画などを協議し、詳細なすり合

わせを行った。
基本的には、市の方針を踏襲することになるが、今後細部にわたり協議しながら円滑に移管できるように進めていく。

Q 美山地域の保育施設等を中心とした地域創造事業など、今後の保育方針はどのようなか。

A 美山地域の保育園民営化については、保護者のニーズなど総合的に勘案しながら検討していく。

美山地域の保育園は、自然財産をさらに活用し、自然体験型保育を推進する。他園にも同様に自然体験型保育を推進していく予定である。

地域の特性を生かしながら各保育園の独自性や創意工夫により、よりよい保育環境の確保を目指す。



▲自然体験事業「小川であそぼう」

Q 市の雪対策は

A 除雪業者の確保対策と雪下ろしの経費を助成



田中 辰典 議員

Q 冬になり、雪が積もることもおおいに考えられ、円滑な交通確保が行政に求められる。特に旧美山町は、国の豪雪地帯に指定されており、昭和56年と平成18年の豪雪時は積雪がそれぞれ1m以上あり、旧美山北中学校の体育館屋根が積雪により崩落した。市道は、積雪20cm以上で除雪すると聞いている。

年々減少している市の除雪業者の確保対策はどのようなか。

A 今年度、除雪を委託契約する予定業者は36社。道路除雪において効率的な除雪を行えるよう体制を整え、対応を考えているが、除雪業者は、オペレーター不足などにより年々減少している。このため、平成20年から、除雪業者の負担軽減を図るために、機械基本補償料を支払っている。

除雪業者の確保は、今後も対策を講じなければならない課題と認識している。他市町村の支援の取り組みにも注視し、除雪業者の確保に努める。

Q 高齢者、障がい者世帯などの屋根の雪下ろしに対する対応は。

A 高齢者や障がい者など雪下ろしの作業が困難な世帯に対し、冬の暮らしの安全確保を図る必要があると考える。

高齢者世帯などからの雪下ろしに関する問い合わせには、参考として雪下ろしを行う市内の事業所や、おおよその費用などを紹介し、「山県市高齢者等住宅屋根雪下ろし助成事業」も伝えている。雪下ろし助成事業については、広報紙や、ホームページに掲載し、周知を図る。



市議会議員特別セミナー報告



11月4・5日の2日間、千葉県千葉市にある「市町村アカデミー」で特別セミナーが開催されました。各分野で活躍されている講師のセミナーを受講しましたので報告します。
(文責 田中 辰典)

【受講議員】 武藤 孝成、石神 真、吉田 茂広、古川 雅一、加藤 裕章、寺町 祥江、田中 辰典

災害に強いまちづくりと

自治体・議会の役割

跡見学園女子大学
観光コミュニケーション学部教授

鍵屋 一氏

災害時における議会や議員の役割は、行政と協働で、情報収集や国などに対する要望、地域の支援活動、また、それらを通して住民の生命と財産を守ることである。

災害時、まずは一人一人が自分の身を守るが、障がい者、難病患者、高齢者、妊婦、乳幼児、児童、外国人などは、自力で逃げられない可能性が高いため、配慮が必要である。

高齢化が進み、高齢単身世帯が増える中、自治体職員が年々減少しているため、自助・共助・公助の中でも、公助には限界がある。



また、近所付き合いが減り、自治会活動の参加率が低下、消防団員数も減少し、従来の共助の力も弱くなっている。

Withコロナの時代。今後の災害や危機に対して、日常からの良好な人間関係や近所付き合い、安全安心の地域づくりが必要である。

地方議会改革の変遷と今後の展望

「20年にわたる連載「変わるか！地方議会」の取材から見てきたもの

「月刊ガバナンス」編集主幹 千葉 茂明氏

千葉氏は、これまで約650の自治体、250以上の自治体議会、約450人の首長を取材し、月刊「ガバナンス」の編集長としての経験から課題と今後の展望を述べた。

例えば、市町村合併による地域の衰退、議

員の減少、なり手不足などの課題や、コロナ禍での議会について、議会のDX化やオンライン化、コロナ禍のピンチをチャンスに変える事例をあげた。(例：取手市議会による議会のオンライン化。オンライン会議の参加事由

に出産、育児、介護などコロナ以外の事由を規定。本会議のオンライン化実現を求める意見書の提出など。) 今後山県市議会では、タブレットを導入予定のため、学んだことを議会活動に生かしたい。

公共施設更新問題への挑戦

神奈川県秦野市上下水道局経営総務課参事兼課長

志村 高史氏

— 秦野市の取組みと日本のハコモノ事情から —

公共施設の多くは、都市化の進展や経済成長とともに集中的に整備されてきたが、近い将来、これらの公共施設を一斉に更新する時期がやって来る。これに合わせるように高齢化と人口減少が進み、財政状況が悪化し、現状

のままでは、必要性の高い公共施設まで良好な状況が保てなくなる。

そのため、市民にキッチリと説明し、課題を洗い出したうえで、更新問題を解決するための方針と計画を作り、実行していく必要がある。

地域コミュニティの拠点となる施設として将来にわたり存続させるため、山県市においても、地域住民と共にディスカッションし、まちづくりを進めていきたい。



議会活動日誌

10月

- 6日(水) 議会報編集委員会
- 18日(月) 議会報編集委員会
- 19日(火) 第2回岐阜地域児童発達支援センター組合議会定例会

11月

- 2日(火) 国道418号整備促進期成同盟会定期総会(書面会議)
市戦没者追悼式
- 3日(水) 第19回やまがた社会福祉大会
- 4日(木) 市町村議会議員特別セミナー(千葉県千葉市)
- 5日(金)

- 15日(月) 第52回全国過疎地域連盟定期総会
- 20日(土) 「家族のきずな」エッセイ表彰式
- 22日(月) 議会運営委員会
- 24日(水) 全員協議会
- 26日(金) 第23回国と地方の協議の場等に関する特別委員会
- 29日(月) 第4回定例会本会議(開会)



▲市町村議会議員特別セミナー

12月

- 1日(水) 議会運営委員会
- 6日(月) 議会運営委員会
本会議(質疑)
議会報編集委員会
- 9日(木) 総務産業建設委員会
- 10日(金) 厚生文教委員会
- 13日(月) 本会議(一般質問)
- 14日(火) 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 17日(金) 本会議
(委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)
厚生文教委員会
議員協議会



議会報告並びに意見交換会開催中止のお知らせ

前号で開催の見合わせについてお知らせしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、本年度の議会報告並びに意見交換会は、中止といたしました。
来年度の開催日程が決まりましたら、チラシ・市議会ホームページなどでお知らせします。



テレビ放映のお知らせ

令和4年第1回(3月)定例会 本会議の「提案説明」と「一般質問」をチャンネル長良川で放送します。

- 3月25日(金) 12時~CCN12
- 3月27日(日) 17時~CCN12(サブチャンネル)



◀山県市議会ホームページにアクセスできます。

山県市議会

検索

編集後記

岐阜県における新型コロナウイルスワクチンの2回目の接種を終えた接種率は、12月時点で8割ほどとなっています。我が国における新型コロナウイルスの新規感染者数は、新変異株オミクロン株の感染流行もあり、増加しつつあります。外国では、感染力が強いとされるオミクロン株の感染が拡大しています。今後予定される3回目のワクチン接種に努め、引き続き手指消毒、マスク着用等の基本的対策を順守しましょう。冬の寒さも厳しくなってきました。体調管理に万全を期しましょう。

編集委員

- 【委員長】古川 雅一
- 【副委員長】操 知子
- 【委員】郷 明夫
- 奥田 辰典
- 田中 真也

(文責 郷 明夫)

令和4年第1回(3月)議会定例会予定

2月 28日(月)	本会議(提案説明)
3月 8日(火)	本会議(質疑)
9日(水)	総務産業建設委員会
10日(木)	厚生文教委員会
14日(月)	本会議(一般質問)
15日(火)	本会議(一般質問)
17日(木)	本会議(委員長報告・討論・採決)

※会議は、原則午前10時から開会します。
※傍聴を希望する場合は、傍聴受付で傍聴券を受け取り、入場してください。
※日程を変更することもありますので、事前に議会事務局(22-6840)に問い合わせてください。